

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・・・・購入時の取得価格によっている。（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用しておりません。）

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・・・定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・・・職員の退職給付にそなえるため、当期末における退職給付債務（期末自己都合要支給額）に基づき、当期発生していると認められる金額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりとなっております。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	84,435,740	110,452	0	84,546,192
普通預金	1,564,260	0	110,452	1,453,808
小 計	86,000,000	110,452	110,452	86,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,799,143	3,353,734	0	11,152,877
安成弘記念事業積立資産	356,902	0	0	356,902
重粒子線普及推進事業積立資産	41,322,714	8,903	5,031,833	36,299,784
計測校正事業機器購入積立資産	5,200,000	0	5,200,000	0
計測校正事業環境整備費用準備資金	1,800,000	0	1,800,000	0
人材育成事業研修セミナー費用準備資金	3,000,000	0	1,000,000	2,000,000
財団設立20周年記念事業費用準備資金	—	1,000,000	0	1,000,000
小 計	59,478,759	4,362,637	13,031,833	50,809,563
合 計	145,478,759	4,473,089	13,142,285	136,809,563

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりとなっております。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
基本財産				
投資有価証券	84,546,192	(0)	(84,546,192)	(0)
普通預金	1,453,808	(0)	(1,453,808)	(0)
小 計	86,000,000	(0)	(86,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	11,152,877	(0)	(0)	(11,152,877)
安成弘記念事業積立資産	356,902	(356,902)	(0)	(0)
重粒子線普及推進事業積立資産	36,299,784	(36,299,784)	(0)	(0)
人材育成事業研修セミナー費用準備資金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
財団設立20周年記念事業費用準備資金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(0)
小 計	50,809,563	(36,656,686)	(3,000,000)	(11,152,877)
合 計	136,809,563	36,656,686	89,000,000	11,152,877

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	15,781,630	7,977,141	7,804,489

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	時価	評価損益
国 債	84,546,192	91,063,184	6,516,992
合 計	84,546,192	91,063,184	6,516,992

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 重粒子線普及推進事業に充当	5,031,833
合 計	5,031,833